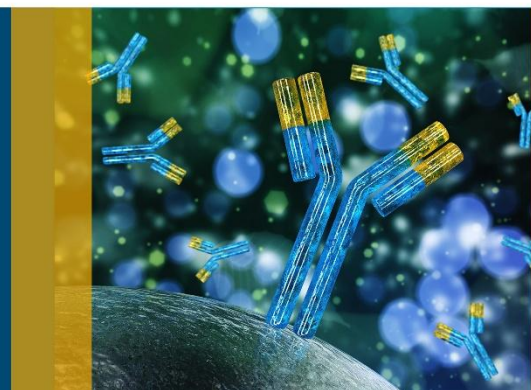


ADC 分析を“つなぐ”

前処理から品質評価までの 統合ワークフロー



| 共 催 |
アジレント・テクノロジー（株）

| 日 程 |
2026年7月15日(水)

| 時 間 | 13:00 - 17:20

| 参加費 | 無料

| 会 場 |
品川フロントビル会議室 会議室 B

[〒108-0075](tel:108-0075)
[東京都港区港南 2-3-13](https://www.agilent.com/locations/japan/office/tyo)
[品川フロントビル 地下1階](#)

| 定 員 | 50名

| 申込方法 |
セミナーページからお申込みください。



<https://aglt.co/POQq>

▲お申込みはこちら▲

お問合せ先：
アジレント・テクノロジー（株）
0120-477-111
lscs_seminar@agilent.com

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
このたびはバイオ医薬分野、とりわけ抗体薬物複合体（ADC）の研究・開発・品質管理における分析課題にフォーカスしたセミナーを開催いたします。
本セミナーでは、鹿児島大学の伊東先生をお招きし、ADC をはじめとしたバイオ医薬研究における最新の分析戦略と実践的知見についてご講演いただきます。
またアジレントからは、以下の3つの観点について、実務に直結する形でご紹介いたします。

- ・ バイオ医薬分析における高分解能MS（QTOF）の役割と可能性
- ・ Altura カラムを中心としたHPLCの消耗品ソリューションによる分離性能・再現性の向上
- ・ 前処理自動化からMAM、データ管理・規制対応までをつなぐ統合ワークフロー

個別の製品紹介にとどまらず、前処理から分析、品質評価までの一連の流れを俯瞰した「実践的な分析戦略」としてご理解いただける構成としております。

会場では各種ソリューションの展示および個別相談の機会もご用意しております。ご多忙の折とは存じますが、ぜひこの機会にご参加賜りますようお願い申し上げます。

敬具

このような方におすすめです。

- ・ 製薬企業、CDMO、CRO における研究・開発・CMC 担当者の方
- ・ ADC や抗体医薬の分析手法の高度化をご検討の方
- ・ 分離性能・再現性の改善や分析効率向上に課題をお持ちの方
- ・ MAM 導入やワークフロー整備をご検討の方

時間	プログラム
12:30	受付開始
13:00 - 13:05	挨拶
13:05 - 14:05	特別講演 組織移行抗体を使った DDS による次世代創薬 — AccumBody® プラットフォームと抗体コンジュゲート技術 — 鹿児島大学大学院理工学研究科理学専攻 伊東 祐二 教授
14:05 - 14:20	休憩
14:20 - 15:05	ADC 分析を“つなぐ” LC 分離戦略 - Altura カラムによる高再現分析
15:05 - 15:20	休憩
15:20 - 16:05	MAM 実践 - 研究開発から品質評価までの統合ワークフロー
16:05 - 16:15	まとめ
16:15 - 17:20	情報交換会

内容や順番、時間は変更となることがありますのでご了承ください。